

## 市長田村克也の お手紙

届けます。



神姫バス株式会社 長尾真社長（右）とアプリ「くるるさんだ」を記者発表（5月14日）

新緑がまぶしい初夏を迎えた本市の田園風景は、息をのむような美しさです。本市で育まれる農作物は、朝晩の寒暖差や清らかな水と、農家の皆さんが磨き上げてこられた「卓越した技術と愛情」により、全国に誇れるブランドとなつていきます。

こうした自然の豊かさもあり、経済雑誌「東洋経済オンライン」での大阪圏における「子育てしやすい自治体ランキング」第1位に続き、住宅情報サービスの「住みたい街ランキング2026 関西版」で「水が綺麗で美味しい街」関西圏第2位に選ばれるなど、魅力あるまちとして高い評価を得ています。私も、水のおいしさを日々実感しています。

市では、そのような地域の恵みを生かし「三田産黒大豆活用プロジェクト」に取り組んでおり、4月には、三田産黒大豆を使った美容商品（7頁参照）の販売を発表しました。今後も黒大豆の特性を

生かし、三田市のシテイセールスやブランディングの確立を行っていきます。

また、包括連携協定を締結している神姫バス株式会社との協働により、地域密着型アプリ「くるるさんだ」（※）を試行導入していきます。このアプリは、地域ポイントや地域の電子回覧板といった機能を有しています。特に地域ポイントは、登録者に毎月3千ポイントが自動付与され、市内の協力店舗でポイント利用によるサービスが受けられる仕組みで、地域経済の活性化が大いに期待できます。まずは実証実験としてのスタートですが、大きく普及することにより、市の施策や課題解決にも活用できる可能性は広がると考えています。引き続き、市、地域、事業者が一体となって、住みやすく選ばれるまちづくりを進めてまいります。

※スマートフォン向け。アプリストアで検索し、ダウンロードできます。

## 住みやすいまちの追求とブランディング

三田市長

田村克也

### Mayor's Photo Diary



4月29日 キッピー山のラボ（有馬富士自然学習センター）開館25周年。参加者と一緒に蝶を放つセレモニーを開催



5月1日 兵庫ブレーブズのホームゲームで始球式。激励のあいさつと中継放送出演も（神姫バス城山公園）



5月9日 白いこいのぼりに絵やメッセージを描く「元気のぼり」に出席。新宮晋さんが毎年主催（有馬富士公園）